

保健体育

(12) 保健体育

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1) 体育や保健の見方・考え方を働かせながら、運動や健康について自他の課題を発見し、合理的な解決のための活動など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (2) 筋道を立てて練習や作戦について話し合う活動や、個人生活における健康の保持増進や回復について話し合う活動などを通して、言語能力や論理的思考力の育成を図るための工夫 (3) 情報活用能力の育成に向け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用して、学習活動を行うための工夫 (4) 学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして、自身の学びや変容を自覚できるようにするための工夫 (5) 体育分野におけるスポーツとの多様な関わり方や保健分野の指導について、具体的な体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携した学習を実施するための工夫 (6) 運動の楽しさや健康の意義等を発見し、運動や健康についての興味や関心を高め、自主的、自発的な学習を促すための工夫 (7) 他の教科や小学校等との関連を図った学習活動を充実するための工夫
2 使用上の便宜	(1) 内容別配当の分量 (2) 教材・資料等の分量 (3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等
3 その他	今日の課題への配慮や工夫

1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
2 東書	<p>●着眼点(1)について 各単元において、「活用する」や「広げる」を学習することでより深い学びになるよう工夫されている。「学習のまとめ」に、学習したことを整理するための「章末問題」が設定されている。 〔例〕 (P15、P26 等)</p> <p>●着眼点(2)について 各単元において、「学習課題」に対し資料などをもとに考えたり、話し合ったりする活動が取り入れられている。 〔例〕 (P14 等)</p> <p>●着眼点(3)について 健康や安全を守るための情報の種類について掲載されており、情報活用能力の育成につながるよう工夫されている。 〔例〕 (P4～5)</p> <p>●着眼点(4)について 各章末に知識の習得を確認する「学習のまとめ」が掲載されており、学習を振り返ることができるよう工夫されている。 〔例〕 (P26 等)</p>	<p>●着眼点(5)について 発展の活動「広げる」では、家庭や地域のことを調べる内容が記載されており、実生活との関係をより深く学習できるよう工夫されている。 〔例〕 (P113、P135 等)</p> <p>●着眼点(6)について 「章末資料」において、より詳しい資料や実践例が掲載されており、自主的、自発的な学習を促すよう工夫されている。 〔例〕 (P62～65)</p> <p>●着眼点(7)について ・「他教科マーク」を示し、他教科と関連する内容であることがわかるよう工夫されている。 〔例〕 (P18 等)</p> <p>・章のはじめに、小学校で学習した内容や高等学校で学習する内容が示されている。 〔例〕 (P13 等)</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
4 大日本	<p>●着眼点(1)について 巻頭に「保健体育の学び方」が示されるとともに、各内容に「活用して深めよう」が設定され、学習したことを整理しながら学びをより深められるよう工夫されている。 〔例〕 (P1、 P5 等)</p> <p>●着眼点(2)について 学習ごとに「話し合ってみよう」や「やってみよう」のコーナーが設定され、思考したことを対話したり、記述したりする活動ができるよう工夫されている。 〔例〕 (P5、 P17 等)</p> <p>●着眼点(3)について 情報活用能力・情報モラルについて効果的に学習できるよう特設ページが設定されている。 〔例〕 (口絵 13～14)</p> <p>●着眼点(4)について 各章末において「学習のまとめ」が設定されており、学習した内容や重要な語句を振り返り、学習を深めることができるよう工夫されている。 〔例〕 (P28 等)</p>	<p>●着眼点(5)について 技能を身につける内容は、見出しに「実習」と示されており、写真やイラストを用いて解説されている。 〔例〕 (P106～109)</p> <p>●着眼点(6)について 導入の活動「つかもう」では、生徒に身近な題材を取り上げることで、自主的、自発的な学習につなげることができるよう工夫されている。 〔例〕 (P4 等)</p> <p>●着眼点(7)について ・「他教科マーク」を示し、他教科と関連する内容であることがわかるよう工夫されている。 〔例〕 (P20 等) ・章のはじめに、小学校で学習した内容や高等学校で学習する内容が示されている。 〔例〕 (P15 等)</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
50 大修館	<p>●着眼点(1)について 「保健体育の学び方」において、さまざまな学習方法が示されており、各単元では「きょうの学習」が設定され、主体的な学びにつながるよう工夫されている。 〔例〕 (P2、P9 等)</p> <p>●着眼点(2)について 各項目の最後に「学習のまとめ」が設定されており、自ら考え、判断し、表現する力を身につけられるよう工夫されている。 〔例〕 (P9 等)</p> <p>●着眼点(3)について 運動やスポーツ・健康に関する情報の存在と活用方法が示されており、情報活用能力の育成に向け工夫されている。 〔例〕 (P69、P166～167 等)</p> <p>●着眼点(4)について 各章の最後に「章のまとめ」を設け、観点ごとに学習を振り返り、知識を確認し、学びを深めることができるよう工夫されている。 〔例〕 (P14～15 等)</p>	<p>●着眼点(5)について 技能を身につける内容は、見出しに「実習」と示されており、写真やイラストを用いて解説されている。 〔例〕 (P116～119)</p> <p>●着眼点(6)について 「特集資料」において、より詳しい資料や実践例が掲載されており、自主的、自発的な学習を促すよう工夫されている。 〔例〕 (P74～75)</p> <p>●着眼点(7)について ・「他教科マーク」を示し、他教科と関連する内容であることがわかるよう工夫されている。 〔例〕 (P32 等) ・章のはじめに、小学校で学習した内容や高等学校で学習する内容が示されている。 〔例〕 (P30 等)</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
224 学研	<p>●着眼点(1)について 各時間に「ウォームアップ」を設けて、学習課題を主体的に捉えられるように工夫されている。また、「学びを生かす」では、人に伝えることで考えを深め、実生活につなげていけるよう工夫されている。 〔例〕 (P28～29 等)</p> <p>●着眼点(2)について 「エクササイズ」では、学んだことや資料をもとに、グループで考えたり、調べたり、話し合ったりする活動が取り入れられている。 〔例〕 (P21、P91 等)</p> <p>●着眼点(3)について 各章のはじめに、「保健体育と情報」が設けられており、情報活用能力の育成に向け工夫されている。 〔例〕 (P14、P42、P72 等)</p> <p>●着眼点(4)について 章末の「章のまとめ」において、学習で習得した知識の確認や、学習を振り返り実生活へつなげる記述欄などが設定されている。 〔例〕 (P25 等)</p>	<p>●着眼点(5)について 技能を身につける内容は、見出しに「実習」と示されており、写真やイラストを用いて解説されている。 〔例〕 (P124～127)</p> <p>●着眼点(6)について 「探求しようよ！」において、より詳しい資料や実践例が掲載されており、自主的、自発的な学習を促すよう工夫されている。 〔例〕 (P22～24)</p> <p>●着眼点(7)について ・「保健体育の学習内容」において、各教科との関連付けがまとめられている。 〔例〕 (P190～191) ・章のはじめに、小学校で学習した内容や高等学校で学習する内容が示されている。 〔例〕 (P27 等)</p>

2 使用上の便宜

項目 発行者の 番号・略称	総ページ	(1)内容別配当の分量							(2)教材・資料等の分量								
		健康な生活と疾病の予防	心身の発達と疾病の予防	傷害の防止	健康と環境	体育理論	索引	その他	書き込み欄の数								
									資料としてのグラフ数	写真掲載数	脚注の数	記号などで書き込む	表やグラフへ書き込む	文章で書き込む	話し合いの設問の数	(二次元コード・ウェブサイト等)	三重県に関わる記述等
2 東書	198	54	28	22	20	32	2	40	74	231	74	1	8	11	24	67	-
4 大日本	194	50	25	29	18	40	2	30	46	308	42	0	0	9	35	22	○
50 大修館	206	60	32	26	22	40	2	24	56	334	84	52	7	49	20	120	○
224 学研	206	56	28	28	20	38	4	32	43	318	117	129	3	63	123	91	○

(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等

2 東書	<ul style="list-style-type: none"> 見開き1単元構成とし、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」という順番で学習の流れに沿って構成されている。 常用漢字について全てルビが付き、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、カラーユニバーサルデザインの観点から配色及びデザインについても配慮されている。 理解を深めるために、学びを深めるコンテンツを観ることができる二次元コードが配置されている。
4 大日本	<ul style="list-style-type: none"> 見開き1単元構成とし、本文と資料が左ページと右ページに分けて示されている。 課題解決学習の流れの中で、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、各小単元の構成が統一されている。 読みやすさに配慮するよう重要な部分を強調するなどレイアウトを工夫したり、ユニバーサルフォントが使用されている。また、色覚のちがいによって学習に支障が出ないようカラーユニバーサルデザインにも配慮されている。
50 大修館	<ul style="list-style-type: none"> 見開き1単元構成とし、「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」という順番で学習の流れに沿って構成されている。 ユニバーサルデザインフォントが使用されており、カラーユニバーサルデザインの観点から配色及びデザインについても配慮されている。 系統性のある指導ができるよう、すべての章とびらに「小学校で学習したこと」「この章で学習すること」「高校で学習すること」が明示されている。
224 学研	<ul style="list-style-type: none"> 見開き1単元構成とし、「課題の発見」「学習の課題」「課題の解決」「学びの活用」という順番で学習の流れに沿って構成されている。 視認性を高め、学びやすさを高めるための工夫として、内容やレイアウト、カラーなどについて配慮されている。また、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 理解を深めるために、学びを深めるコンテンツを観ることができる二次元コードが配置されている。

3 その他

	今日的な課題への配慮や工夫
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> SDGsについて、保健体育で学習する「感染症」と「スポーツ」の観点から、活動の例が取り上げられている。 「傷害の防止」では、「自然災害による危険」、「自然災害による傷害の防止」が取扱われており、発展的な内容として「共に生きる」が掲載されている。 健康、安全、オリンピック・パラリンピックの資料が掲載されている。
4 大日本	<ul style="list-style-type: none"> 「傷害の防止」では、「自然災害による傷害の防止」が取扱われており、発展的な内容として、「自然災害の脅威」が掲載されている。 オリンピック・パラリンピックの大会の歴史やアスリートの写真、重要な語句が掲載されている。 ICT機器やインターネットを使用する際の健康上や安全上の注意点について、資料が掲載されている。
50 大修館	<ul style="list-style-type: none"> SDGsについて、保健の学習内容に関するSDGsの目標が紹介されている。 「けがの防止と応急手当」では、特集資料として「気象災害から命を守る行動」、「地震災害から命を守る行動」が掲載されている。 オリンピック・パラリンピックの大会の意義や歴史について掲載されている。
224 学研	<ul style="list-style-type: none"> 「傷害の防止」では、「自然災害に備えて」が取扱われており、発展的な内容として、「自然災害から身を守るために①」（地震・火山噴火）と、「自然災害から身を守るために②」（台風・大雨、大雪、竜巻）が掲載されている。 保健体育の学習と、日々の生活の関係を踏まえた資料が、共生の視点からスポーツや健康・安全などさまざまな切り口で掲載されている。 オリンピック・パラリンピックの大会の意義や歴史について掲載されている。